

第2次大阪府スポーツ推進計画 (答申素案)

—目 次—

1. 第2次大阪府スポーツ推進計画について	1
(1) 策定の趣旨	
(2) 計画期間	
(3) 策定の留意点	
2. 目標と理念	2
3. 2本の『柱』	3
4. 2本の『柱』の推進方針	4
5. 重要業績評価指標	14
6. 計画の推進に当たって	15
(参考) 計画の全体概要	16

1. 第2次大阪府スポーツ推進計画について

(1) 策定の趣旨

大阪府では、2011年6月に制定された「スポーツ基本法」及びそれに基づく「スポーツ基本計画」を踏まえるとともに、それまで進めてきた取組の成果を生かし、また、新たな課題に対応するために、2012年4月に「大阪府スポーツ推進計画」を策定し、「大阪スポーツ王国の創造」をめざす目標に据え、「生涯スポーツの社会」の実現に向けて取り組んできました。

その結果、学校での体育・運動部活動の充実、様々なジャンル・種目のスポーツ教室やスポーツ大会の開催、身近なところでスポーツに親しめる機会の拡充、スポーツ活動を「ささえる」人材の育成、スポーツ情報の発信等、行政、スポーツ関連団体、地域等様々な主体によるスポーツに取り組める環境の整備は進みました。また、トップアスリートのパフォーマンスに触れる機会の提供、プロスポーツチームと連携したスポーツの魅力発信や大阪マラソンの継続開催等、スポーツを大阪の都市魅力創造のコンテンツとして国内外に発信してきたところです。

しかしながら、「大阪府ではスポーツが盛んだと思う府民の割合」、「成人の週1回以上のスポーツ実施率」等推進計画の目標指標の多くが未達成というのが現状です。

我が国では、ラグビーワールドカップ、オリンピック・パラリンピック、ワールドマスターズゲームズという国際的なスポーツ大会が2019年から相次いで開催されますが、大阪でも開催地として、あるいは「ホストタウン」として、大会開催に向けた機運醸成や大会後の「レガシー」形成に向けた取組がスタートしています。

そして、本年3月には、『『スポーツ参画人口』を拡大し、他分野との連携・協力により『一億総スポーツ社会』の実現に取り組む』ことを基本方針とした「第2期スポーツ基本計画」が、国において策定されました。

これらの状況を踏まえ、大阪の生涯スポーツの振興をより一層進めるため、2017年度以降の取組の方向を定める「第2次スポーツ推進計画」を策定するものです。なお、「大阪都市魅力創造戦略2020」(2016年11月策定 大阪府・大阪市)中のスポーツ関連施策は、本計画においても位置付けて取り組むこととします。

(2) 計画期間

2017年度から2021年度までの5年間とします。なお、社会経済情勢の変化等に伴い、計画期間内でも内容を適宜見直します。

(3) 策定の留意点

策定に当たっては、

- 1 大阪府スポーツ推進計画(2012年4月策定)に基づくこの間の取組の到達点、課題を踏まえます。
- 2 大阪都市魅力創造戦略2020との整合性を図ります。

* スポーツについては2つの都市像「アジアをリードする国際・プロスポーツ都市」、「健康と生きがいを創出するスポーツに親しめる都市」が示され、それぞれに施策の方向性、主な取組、重要業績評価指標が定められています。

- 3 スポーツ基本法第10条の規定により、国の第2期スポーツ基本計画を参酌します。

2. 目標と理念

【目標】

大阪スポーツ〇〇〇の創造 ～スポーツがあふれる、スポーツでつながる～

次の3つの理念の下、スポーツの推進施策に取り組みます。

- 【理念】 ◎だれもが「する」「みる」「ささえる」スポーツに参加できる
スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは全ての人の権利であり、だれもが自分にふさわしい、様々なかたちでスポーツを楽しむことができる環境を整備します。
- ◎スポーツを都市の魅力として発信し、人を呼び込む
トップアスリートのパフォーマンスやプロのハイレベルなプレーは多くの人を感動させ、スポーツへの参加意欲を高め、夢や希望を育みます。大阪のスポーツの素晴らしさを生かした都市魅力の創造を推進し、発信していきます。
- ◎スポーツで人もまちも活力がある
スポーツを通じ、府民の健康増進や生きがいづくりのみならず、地域・経済の活性化を図ります。

* 本計画ではスポーツを「だれもがそれぞれの体力や年齢、興味・関心に応じて自発的・主体的に楽しむ、文化としての身体活動」と、幅広く捉えることとします。なお、国の第2期スポーツ基本計画(第2章1(1))では次のように説明しています。

スポーツは、体を動かすという人間の本源的な欲求に応え、精神的充足をもたらすものである。
スポーツ基本法において、スポーツは「心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進、精神的な充足感の獲得、自律心その他の精神の涵養等のために個人又は集団で行われる運動競技その他の身体活動」と広く捉えられており、「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利」とであるとされている。

スポーツには、競技としてルールに則り他者と競り合い自らの限界に挑戦するものや、健康維持や仲間との交流など多様な目的で行うものがある。例えば、散歩やダンス・健康体操、ハイキング・サイクリングもスポーツとして捉えられる。

このように、スポーツは文化としての身体活動を意味する広い概念である。各人の適性や関心に応じて行うことができ、一部の人のものではなく「みんなのもの」である。

3. 2本の『柱』

ラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会、ワールドマスターズゲームズ2021関西の三大スポーツイベントは、スポーツへの関心がこれまでも増して高まり、スポーツの力が最大限発揮される絶好の機会です。また、国内外からさらに多くの方が大阪・関西を訪れることから、スポーツを通じて都市魅力をさらに高めていく必要があります。

「大阪スポーツ〇〇〇の創造」に向けて、2本の『柱』で施策を展開します。

府民だれもがスポーツに関わり親しむ機会の創造

スポーツを「する」ことで「楽しさ」「喜び」が得られ、勇気や自尊心、友情などを育みます。

スポーツを「みる」ことで「感動」「活力」が得られます。

スポーツを「ささえる」ことで「共感」や「絆」が生まれます。

このようなスポーツの力を、府民がそれぞれのライフステージを通じて享受し、健康で明るく生き生きと暮らすことができる環境を整備します。

スポーツの力による都市魅力の創造

2019年から2021年までの3つの国際大会の開催は、スポーツへの関心が高まり、スポーツの力が最大限発揮される絶好の機会です。

トップアスリートのパフォーマンスや大規模スポーツイベントを大阪の都市魅力のコンテンツとして国内外に発信するとともに、大阪が有するスポーツ資源を活かし、地域・経済の活性化を図ります。

4. 2本の『柱』の推進方針

1 府民だれもがスポーツに関わり親しむ機会の創造

1 あらゆる世代でのスポーツ活動の推進

府民のだれもが、それぞれのライフステージにおいてスポーツに親しみ、健康で豊かな生涯を送ることができるよう、市町村、学校体育・スポーツ関係者・団体、企業等と連携して、身近に、気軽に、様々なジャンルや種目のスポーツを「する」「みる」「ささえる」ことができる環境づくりを推進します。

① 子ども

幼少期の運動経験や運動の好き嫌いがその後の運動習慣や体力・運動能力に影響を与え、また、単一ではない多種の運動経験がより良い効果をもたらすことから、幼少期に様々な種目のスポーツに親しむ機会を創出します。

学校における体育活動を通して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育てます。また、学校教育の一環として行われる部活動は、異年齢との交流の中で人間関係の構築を図ったり、自己肯定感を高めたりする等その教育的意義が高いことから、運動部の活動において授業との関連を図りつつ、「する」ことのみならず、「みる」「ささえる」の視点から、スポーツに関する科学的知見やスポーツとの多様な関わり方及びスポーツが持つ様々な良さを実感し、生涯にわたるスポーツとの豊かな関わり方を学べるよう取り組みます。

【主な施策の方向性】

- 発達段階に応じて基礎的な動作を獲得できる「アクティブ・チャイルド・プログラム」等の運動遊びプログラムを普及するとともに、幼少期の運動経験の重要性について情報提供等を行うことにより、幼少期の運動経験の充実を図ります。
- トップアスリート（オリンピックやパラリンピアンなど）の指導力等を活用し、子どもたちの運動やスポーツに対する興味・関心を向上させる取組を引き続き進めます。
- 学校における体育活動の充実を図るとともに、地域の人材や作成した運動ツール等を活用して児童生徒のスポーツに対する意欲・関心を高め、運動習慣の定着を図ります。
- 児童生徒の体力や技能、年齢や性別にかかわらず運動やスポーツの多様な楽しみ方を指導できるような研修を実施し、教員の授業力を向上します。
- 運動部活動を通じてスポーツに関わる機会を充実させるとともに、健全な成長に配慮しながら、生涯にわたりスポーツに関わる児童生徒の育成を推進します。

② 働き盛り、子育て世代

府内のスポーツ実施率（週1回以上スポーツをする人の割合）は30代で低く、30代、40代の女性で特に低くなっています*。このようなスポーツに「距離のある」人たちに対し、運動のきっかけとなるような取組を進め、気軽にスポーツに親しめる機会を創出していきます。

働き盛りや子育て世代にとって労働時間は生活の大きなウエイトを占めていることから、企業が運動を通じた社員の健康づくりを積極的にサポートする機運を醸成します。

* 全体30.6%、30代22.1%、30代女性17.2%、40代女性18.8%

【主な施策の方向性】

- ショッピングモール等の多くの人が集まる場所で、だれもが気軽に参加できる体力測定やスポーツ体験の機会を提供し、運動のきっかけづくりを推進します。
- 関西一円で開催されるワールドマスターズゲームズ2021関西を契機に、中高年のスポーツへの参加意欲の増進するための取組を進めます。
- 健康経営の普及を通じて、民間企業における運動等を通じた社員の健康づくりを促進します。
- 女性のニーズや意欲にあったスポーツ機会の提供をする等、女性のスポーツ参加拡大への取組を支援します。
- 子どもと一緒に参加できるイベントや教室等、働き盛りや子育て世代が参加しやすいスポーツ機会の提供を進めます。

③ 高齢者

平均寿命が延伸し期間が延びた高齢期において、幸福で豊かな生活を実現するためには、健康の保持・増進、介護予防、が必要ですが、それにはスポーツは大きな役割を果たします。

高齢者が身近に手軽に体操のようなスポーツを継続できる環境の整備を図ります。また、生きがいつくり、仲間づくりの意味からも、高齢者が地域でスポーツ活動を通じて社会参加できるような仕組みを構築します。

【主な施策の方向性】

- 市町村、関係団体等と連携し、だれもが気軽に参加できるスポーツ教室、イベント等を開催します。
- 関西一円で開催されるワールドマスターズゲームズ2021関西を契機に、中高年のスポーツへの参加意欲の増進するための取組を進めます。【再掲】
- 高齢者の健康増進や生きがいの高揚等を図り、ふれあいと活力ある長寿社会づくりを目的に開催されるねんりんピックに選手団を派遣します。
- 国が策定する、高齢者が楽しく継続的に取り組み、生活習慣病の予防・改善や介護予防を通じて健康寿命の延伸に効果的な「スポーツプログラム」の普及・啓発を進めます。

2 障がい者スポーツの推進

障がい者スポーツ分野でアスリートとして活躍する方々に注目が集まるようになり、障がいのある人もない人も、様々な分野で活躍できる無限の可能性が広がってきています。このため、府立障がい者交流促進センター（ファインプラザ大阪）を障がい者スポーツの拠点として、障がい者スポーツを「する」「みる」「ささえる」という観点から、大阪府障がい者スポーツ大会の開催のほか、障がい者スポーツ指導員の養成等、その他関係団体との連携などを進めています。

【主な施策の方向性】

- 障がい者のスポーツ参加や競技スポーツとしての障がい者スポーツの促進のため、大阪府障がい者スポーツ大会を開催するほか、全国障害者スポーツ大会への選手団派遣を行います。また、これら大会に向けた強化練習等を支援します。
- 支援学校や障がい者自立センター等の府立施設のほか、障がい者スポーツに関わる様々な団体や地域の障がい福祉サービス事業所等との連携やこれらへの支援を行うことにより、「いつでも」「どこでも」「気軽に」障がい者がスポーツをしやすい環境づくりを進めます。
- 障がい者スポーツの支援や振興を担う人材の育成を行います。
- 民間企業やオリンピック・パラリンピアン等のトップアスリート等と連携した障がい者スポーツの普及啓発や、より多くの府民が障がい者スポーツを「ささえる」仕組みづくりを進めます。
- 障がい者スポーツの拠点として、府立障がい者交流促進センター（ファインプラザ大阪）や府立稲スポーツセンターを運営します。
- スポーツ関連施設において、障害者差別解消法に基づく合理的配慮の徹底やバリアフリー化を一層促進します。
- 府立支援学校におけるスポーツ活動の普及・推進を図り、障がいのある幼児・児童・生徒の健全な発達と社会参加の推進に寄与するため施策検討・情報発信を行います。

3 スポーツに関わる多様な人材と場の充実

府民がそれぞれのニーズに応じて日常的にスポーツ活動を行うには、行政やスポーツ団体に加え、地域、企業等が連携した「ささえる」仕組みづくりが必要です。一人でも多くの人々がスポーツに関わることにより、スポーツ参画人口を増やしていきます。

また、スポーツ活動の環境整備として、身近にスポーツができる場の充実を図ります。

【主な施策の方向性】

- スポーツ関係団体と連携し、専門知識を有する多様なスポーツ指導者の育成を進めます。
- 3大国際大会を契機に、産官学連携により、スポーツを「ささえる」人材（研究者、指導者、ドクター、マネジャー等）の育成を図ります。
- 市町村、スポーツ関係団体等と連携し、3大国際大会等に「かかわる」府民を増やし、府民にスポーツ・ボランティア精神を定着させ、登録ボランティア組織等の維持、有効活用を推進します。
- 市町村が委嘱するスポーツ推進委員の資質向上のための研修を充実し、地域のスポーツ活動を「ささえる」人材の育成を支援します。
- 障がい者スポーツの支援や振興を担う人材の育成を行います。【再掲】
- 地域スポーツの担い手としての総合型地域スポーツクラブの質的充実を支援するとともに、国、スポーツ関係団体等と連携し 中間支援組織の整備に協力します。
- 総合型地域スポーツクラブと市町村との連携、廃校、空き教室等の活用等活動場所の拡充を促進します。
- 企業・大学がその有する施設、人材等のスポーツ資源を活用して地域貢献、協賛、協力を行うことができる環境の整備を進めます。
- 新しいジャンルのスポーツ（スポーツクライミング、スケートボード、BMX、ボッチャ等）を身近で楽しめる場づくりを促進します。
- スポーツ施設利用情報、各種スポーツ情報等を、障がい者の情報保障にも配慮しながら、インターネット等を活用し積極的に提供します。
- スポーツ関連施設において、障害者差別解消法に基づく合理的配慮の徹底やバリアフリー化を一層促進します。【再掲】

4 スポーツを通じた健康増進

スポーツを楽しみながら適切に継続することで、生活習慣病の予防・改善や介護予防を通じて健康寿命を延ばすことができれば、個人の生活の質の低下を防ぐとともに、医療費や介護給付費等の社会保障負担の軽減も期待できます。

府民が身近にスポーツ活動ができる環境を整え、スポーツを通じた健康増進により、健康長寿社会の実現をめざします。

【主な施策の方向性】

- 府民が運動しやすい環境を整備するため、身近なコミュニティにおける気軽なスポーツ実践の場を拡充させます。
- 国が策定する、高齢者が楽しく継続的に取り組み、生活習慣病の予防・改善や介護予防を通じて健康寿命の延伸に効果的な「スポーツプログラム」の普及・啓発を進めます。【再掲】
- 市町村、企業、大学、関係団体等と連携し、だれもが気軽に参加できる健康増進のためのイベント、スポーツ教室等を開催し、身体活動量の増加を図ります。
- 企業、大学等と連携し、府民にスポーツ健康科学の知見を分かりやすく情報提供する等の取組を進めます。

2 スポーツの力による都市魅力の創造

1 国際的、大規模なスポーツ大会等の誘致、開催

国際的、大規模なスポーツ大会・イベントの開催は、府民に夢や感動を与えてくれるとともに、国内外から人々が集い、都市に賑わいをもたらします。

特に、ラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会、ワールドマスターズゲームズ2021関西、の3つの国際大会が3年連続で開催される「ゴールデンスポーツイヤーズ」では、府民のスポーツに対する関心は最大限に高まります。

市町村、スポーツ関連団体等とも連携しながら、これら大会の成功に向けて取り組むとともに、大阪の都市の魅力を国内外に発信します。

【主な施策の方向性】

- ラグビーワールドカップ2019では、東大阪市花園ラグビー場が全国12会場の一つとなります。共同開催都市である東大阪市とともに関係機関・団体等と連携し、「オール大阪」で大会成功に向けた取組を進めます。
- ワールドマスターズゲームズ2021関西では、府内では岸和田市で自転車（BMX）、東大阪市でラグビー、泉南市で水泳（オープンウォーター）が開催されます。関係機関・団体等と連携し、これら開催市の取組を支援します。
- 市町村、関係団体等と連携し、東京オリンピック・パラリンピック競技大会2020の事前キャンプ誘致に取り組めます。
- 3つの国際大会への府民の関心を高め、機運醸成を図るためのイベント等を開催する等、広報啓発を推進します。
- 市町村、スポーツ関係団体等と連携し、人気の高いスポーツ競技大会の誘致、開催し、府民がトップアスリート（オリンピックやパラリンピアンなど）のパフォーマンスを見る機会を提供するとともに、大阪の都市魅力を国内外に発信します。

2 ラグビーワールドカップ、オリンピック・パラリンピック、ワールドマスターズゲームズ関西の開催を契機としたレガシーの形成

ラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会、ワールドマスターズゲームズ2021関西の3つの国際大会を一過性の「祭り」とせず、最高潮に達する府民の「みる」スポーツへの関心を「する」「ささえる」スポーツに移行させるとともに、これらの大会がもたらす効果や成果を未来につなぎ、さらに発展させる取組を進めます。

【主な施策の方向性】

- オリンピック・パラリンピックをはじめとするスポーツが持つ「価値」やフェアプレイの精神、スポーツマンシップ等を次代を担う子どもたちに伝え理解を深めるオリンピック・パラリンピックムーブメント教育を推進します。
- 3大国際大会を契機に、産官学連携により、スポーツを「ささえる」人材（研究者、指導者、ドクター、マネジャー等）の育成を図ります。【再掲】
- 市町村、スポーツ関係団体等と連携し、3大国際大会を「ささえる」ことを通じて府民にスポーツ・ボランティア精神を定着させ、登録ボランティア組織等の維持、有効活用を推進します。【再掲】
- オリンピック・パラリンピック関連の機運醸成事業やムーブメント教育等を通じて総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団、支援学校運動部等のスポーツ組織の活性化を図ります。
- スポーツ関連施設において、障害者差別解消法に基づく合理的配慮の徹底やバリアフリー化を一層促進します。【再掲】

3 競技スポーツの振興

トップアスリートとのふれあいやレベルの高いパフォーマンスを見ることを通じて、府民にスポーツの持つ素晴らしさを伝えるとともに、スポーツに対する興味・関心、参加意欲をさらに高めます。

子どもたちが自分の興味・関心に応じて多種のスポーツを経験することを通してスポーツに夢や希望、憧れを抱き、トップアスリートをめざすことができる環境を創出し、次世代アスリートの養成を図ります。

【主な施策の方向性】

- プロスポーツチーム、スポーツ関係団体等の協力を得て、トップアスリート（オリンピックやパラリンピアンなど）の府内小中学校への派遣やスポーツ教室の開催、ゲーム観戦優待事業等、トップアスリートとふれあう機会を一層拡充します。
 - 国際大会や全国規模のスポーツ競技会における成績優秀者やスポーツ振興に貢献した方への顕彰事業を一層充実します。
 - 国民体育大会等への選手・役員等の派遣を支援します。
 - 障がい者のスポーツ参加や競技スポーツとしての障がい者スポーツの促進のため、大阪府障がい者スポーツ大会を開催するほか、全国障害者スポーツ大会への選手団派遣を行います。また、これらの大会に向けた強化練習等を支援します。
- 【再掲】

4 スポーツを通じた地域・経済の活性化

スポーツは「する」「みる」「ささえる」こと自体、楽しく喜びに満ちた所為ですが、そこには人と人とのつながりが生まれ、また、様々な消費行為がなされます。府内のスポーツ資源を、「観光」「食」「アミューズメント」「健康」等其他領域のリソースとの連携も含めて有効に活用し、地域・経済の活性化を促進します。

【主な施策の方向性】

- 大阪のまちや人の魅力を発信し、世界トップレベルの市民マラソンとなるよう、大阪マラソンのさらなる進化・発展に取り組めます。その際には、海外からのエントリーも増加していることから、スポーツツーリズムの観点からも工夫を凝らします。
- 一級の競技施設、プロスポーツチーム等スポーツ関連の人的・物的資源を活用したスポーツツーリズムの一層の促進に、民間事業者や関係団体と連携しながら取り組めます。
- 市町村、関係団体等と連携し、ランドマーク等大阪のブランド力を活用したスポーツイベントの誘致、開催を図ります。
- 東京オリンピック・パラリンピック参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る、市町村のホストタウン事業を支援します。
- 府内には、スポーツ関連企業やスポーツ・健康を有する大学が多くあります。これらのポテンシャルを活かし、スポーツ・健康などの分野に関心のある企業における新たな製品やサービスを創出するための支援を行います。

5. 重要業績評価指標

以下のとおり重要業績評価指標(KPI)を設定し、本計画の実現をめざします。

	項 目	策定時の値 (2016)	目標値 (2021)	データの確認方法
全体指標	大阪府ではスポーツが盛んだと思う府民の割合 ◎	40.8%	50%	大阪府調査
	成人の週1回以上のスポーツ実施率 ◎●□	42.3%	50%	スポーツ庁調査
個別指標	体育の授業が楽しい小中学生の割合 ■	91.1%	95%	スポーツ庁調査
	運動やスポーツをすることが好きな小中学生の割合	小88.3% 中80.8%	小95% 中85%	
	大阪府障がい者スポーツ大会における参加者数 ◎■	916人	1,000人超	大阪府調査
	中級障がい者スポーツ指導員登録者数	280人	300人	
	大阪府にゆかりのあるプロスポーツチーム7チームの年間主催試合での観客者合計数 □	2,906,534人	360万人	各チーム公表資料

◎: 前推進計画から継続

●: 第2期スポーツ基本計画での指標

□: 大阪都市魅力創造戦略2020での主指標

■: 大阪都市魅力創造戦略2020での副指標

6. 計画の推進に当たって

- スポーツは、国籍、年齢、性別、障がいのある・なし等にかかわらず、それぞれの適性や関心に応じて行うことができる「みんなのもの」でなければなりません。これは、様々な分野、領域で取り組まれている「共生社会」あるいは「ダイバーシティ」の考えと相通じるものです。
そのため、府、市町村、学校体育・スポーツ関係者・団体、企業等、スポーツ振興に関わる様々な主体でネットワークを構築し、スポーツを「する」「みる」「ささえる」全ての人が「プレーヤーズ・ファースト」としてスポーツを楽しめる環境づくりを進めます。
- 現在、府内には、国際的、全国的なスポーツ大会の会場となる大規模スポーツ施設や、市町村の地域型スポーツ施設が整備され、スポーツ振興に大きな役割を果たしています。将来にわたってこれらの施設がその役割を十分に果たしていくには、適切で継続的な維持管理が欠かせません。合わせて、障害者差別解消法に基づく合理的配慮の徹底やより一層のバリアフリーが必要です。
また、グラウンド、体育館、プール等が整備された学校や大学、企業等のスポーツ施設は、様々な形態で生涯スポーツの推進に活用されていますが、さらに広範に利用できるよう、より効率的な仕組みづくりを進めます。
- 「いつでも」「どこでも」「気軽に」スポーツを楽しめる社会づくりには、住民に身近な基礎自治体の役割が非常に重要です。
府は広域自治体として、市町村域を越えた広域的な事業や国際大会・全国大会の招致、大規模スポーツイベントの開催等の事業を行います。また、市町村が行う地域のニーズに応じたスポーツの推進を支援するとともに、市町村との協力・連携を進めます。さらに、民間や地域で蓄積された知識、経験等の大切な財産が十分に活用されるよう、これらとの連携を強化します。
このような取組を通じて、広域自治体としての「府」、基礎自治体としての「市町村」、そして「民間」も「地域」も一体となって、大阪のスポーツの推進に努めます。
- 文化は人々の生きがい及び創造力の源泉であり、明るく豊かで活力に満ちた社会を形成する上で、スポーツとともに不可欠なものです。
大阪でも、様々な場所において、世界に誇る上方伝統芸能から府民やアーティストの創作活動に至るまで、多彩な文化活動が行われており、文化とスポーツの双方にお互いの視点や施策を盛り込んでいくことにより、双方の有する効果をさらに高めていきます。
- 以上により、全ての府民が自らの選ぶところにより、スポーツを「する」「みる」「ささえる」ことが可能となるように施策の推進に取り組み、全国、そして世界に向けて、大阪の都市魅力を強く発信していきます。

めざす目標

大阪スポーツ〇〇〇の創造
～スポーツがあふれ、スポーツでつながる～

理念

- ◆だれもが「する」「みる」「ささえる」スポーツに参加できる
- ◆スポーツを都市の魅力として発信し、人を呼び込む
- ◆スポーツで人もまちも活力がある

2本の『柱』

府民だれもがスポーツに関わり、親しむ機会の創造

スポーツの力による都市魅力の創造

【施策の展開、取組例】

1 あらゆる世代でのスポーツ活動の推進

- ・ワールドマスターズゲームズ関西を契機とした府民のスポーツへの参加意欲の向上
- ・だれもが気軽にスポーツに取り組める機会の提供

2 障がい者スポーツの推進

- ・大阪府障がい者スポーツ大会の開催、全国障がい者スポーツ大会への選手派遣、強化練習
- ・障がい者スポーツの支援、振興を担う人材の育成
- ・スポーツ関連施設での合理的配慮の徹底、バリアフリー化の一層の促進

3 スポーツに関わる多様な人材と場の充実

- ・総合型スポーツクラブの質的充実の支援、中間支援組織の整備
- ・登録ボランティア組織等の維持、有効活用
- ・専門知識を有する多様なスポーツ指導者の育成
- ・新ジャンルのスポーツを身近で楽しめる場づくりの促進

4 スポーツを通じた健康増進

- ・身近なコミュニティにおける気軽なスポーツ実践の場の拡充
- ・企業、大学等と連携した事業の展開
- ・スポーツ健康科学の推進

1 国際的、大規模なスポーツ大会等の誘致、開催

- ・ラグビーワールドカップやオリ・パラ等機運醸成イベント等の展開
- ・人気の高い競技大会の誘致によるトップアスリートのパフォーマンスを見る機会の提供

・市町村と連携した事前キャンプの誘致

2 ラグビーワールドカップ、オリンピック・パラリンピック、ワールドマスターズゲームズ関西の開催を契機としたレガシーの形成

- ・オリ・パラムーブメント教育の推進
- ・産官学連携によるスポーツ人材の育成

3 競技スポーツの振興

- ・トップアスリートの指導力などを活用した子どもたちの運動やスポーツへの参加意欲の向上
- ・大阪にゆかりのあるプロスポーツチームと連携した都市魅力の発信、観光振興につなげるための取組の推進

4 スポーツを通じた地域・経済の活性化

- ・大阪マラソンのさらなる進化・発展
- ・ランドマーク等大阪のブランド力を活用したスポーツイベントの誘致・開催
- ・ホストタウン登録の推進